

# いぶき野小学校 通学区域調整委員会ニュース

第 6 号

平成19年5月16日

発行:いぶき野小学校通学区域調整委員会事務局

## 第 6 回調整委員会

☆平成19年4月27日(金)10時から

☆いぶき野小学校コミュニティハウスにて

長津田小学校の通学安全対策について説明するとともに、4月20日に実施した長津田小学校への通学路に関する調査の結果について、報告しました。  
また、通学区域の変更案について議論を行いました。

### 今回の説明・協議内容等

- 1 長津田小学校の通学安全対策及び通学路の状況について
- 2 通学区域案の検討について
- 3 調整委員会に寄せられたご意見・ご要望について

## 1 長津田小学校の通学安全対策及び通学路の状況について

### 長津田小学校の通学安全対策

対 象 別	対 応 策
児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班別に集団登校を実施（1班5人～8人程度の異学年グループ）</li> <li>○ 下校は学年ごとに同時刻・同一方向の児童は複数で下校するよう指導</li> <li>○ 防犯ブザーの携帯</li> </ul>
P T A、保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通安全上危険な箇所は、当該箇所を通過する登校班の保護者が交代で毎日見守っている。（当番表は、校外委員が作成、頻度は月1回程度）</li> <li>○ 集団登校の集合場所において、当該登校班の地区長が年度当初や長期休業期間終了後、2週間程度全員揃うまで確認し、見守る。</li> <li>○ 自宅から集合場所までは、保護者の判断により保護者が付き添い。</li> <li>○ スクールゾーン交通安全対策協議会による危険箇所改善要望</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登校時、学校下信号において毎朝、登校指導。</li> <li>○ 「防犯チェックシート」による安全教育の継続。</li> <li>○ 「地域安全マップ」の作成</li> <li>○ 教職員による通学区域内の安全点検（危険箇所等の確認）</li> </ul>
学援隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校班： 下校時、学校下信号において毎日、下校指導をしていただいている。</li> <li>○ 自宅班： 自宅周辺の通学路に立ち、安全確保の活動をしていただいている。</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども110番の家への協力</li> </ul>

○ 平成18年度 長津田小スクールゾーン交通安全対策協議会要望事項(抜粋)

- 1 長津田七丁目： 階段下電柱にミラー等の設置
- 2 長津田六丁目： 消防小屋間及び山水閣と大林寺側へ渡る道路に信号機との併用で横断歩道新設
- 3 宮の前交差点： スロープ付き歩道橋に新設、又は歩行者用信号機の新設要請

### 長津田小学校への通学路調査

学区変更対象区域③のエリア(長津田みなみ台一丁目)から長津田小学校への通学安全について、課題を抽出するため、仮の通学路を3ルート設定し、調査を実施しました。

日時：平成19年4月20日(金)10:00～12:00

参加者：いぶき野小学校PTA選出委員、長津田小学校PTA選出委員、いぶき野小学校長、長津田小学校長、  
緑区地域振興課、緑土木事務所、教育委員会学校計画課(事務局)

#### 1 ルート案①

##### 【ルートの概要】

長津田町方面からの既存通学路となっているバス通りを通り、国道246号の横断は、宮の前歩道橋を利用する。

##### 【現況】

- (1) 御前田第三公園前は、歩道がない。
- (2) バス通りは歩道にガードレールがない箇所がある。また、極端に歩道幅が狭いところがありすれ違いはできない。
- (3) 現行の登校班に合流した人数で、歩道幅が狭いバス通りを通ることになる。

##### 【考えられる対応策】

岩川に人道橋をかけ、県営団地からバス通りへ抜けるようにすると、歩道幅の狭い箇所は避けられる。

2 ルート案②

【ルートの概要】

県営団地の外周道路を通り、御前田自治会館のところ、国道246号へ出る。国道246号の横断は、宮の前歩道橋を利用する。

【現況】

- (1) 県営団地までの道が坂の上り下りがあり、見通しが悪い。
- (2) 県営団地にぶつかる場所は、県営団地側のガードレールに切れ目がない。
- (3) 国道246号は、雨天時の車からの泥水のはねかえり、大型車走行による風圧、歩道の自転車走行などの問題がある。

【考えられる対応策】

ガードレールの切れ目を入れる。(県営団地と要調整) → 見通しが悪い道路の課題は残る。

3 ルート案③

【ルートの概要】

霧長線を通り、大林寺山水閣で既存の通学路に合流する。国道246号は御前田交差点を横断する。

【現況】

- (1) いぶき野小学校を右手に見ながらの通学路となる。
- (2) 御前田交差点は、平面横断となる。
- (3) 霧長線は、歩道幅が広い。
- (4) 大林寺山水閣を左折後のルートは、交通量が少ない。ただし、本所ストア一角は国道246号線からの通過交通あり。

【考えられる対応策】

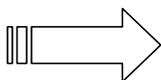
御前田交差点での見守り。

4 その他意見

- (1) 子供はまっすぐな道が好きだし、その方が分かりやすい。
- (2) みなみ台1丁目の通過交通に対して、入りだけでも規制できないか。
- (3) 登校は必ず集団なので安心だが、帰宅時の1時半から3時半の間の不審者が心配。
- (4) 通学路は、実際の通学状況を見て、徐々に変更させていくことも考えられる。
- (5) 通学路は1本に絞らなくてもいいのではないか。

【委員からの意見】

- ・ (案①だが) 橋を造るにしても、このあたりは駐車場も多く、道路も狭い。朝、車の通行量の多い中で児童が登校する状況になっている。
- ・ 児童は何時頃に通るのか。  
→ 7時40分頃です。(長津田小校長)



通学区域案に関する議論を踏まえたうえで、次回委員会で改善策を取りまとめていくこととします。

2 通学区域案の検討について

平成20年4月に通学区域を変更する必要性について

		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
いぶき野小 (34教室)	児童数	1062 (1025)	1122	1209	1282	1356	1422	1458
	学級数	30 (30)	31	33	34	36	38	39

平成19年4月3日現在

H19
1097
30

(全年齢5クラス)

		H20	H21	H22	H23	H24
児童数	基本数	1149	1206	1270	1327	1356
	急増数	60	76	86	95	102
	合計	1209	1282	1356	1422	1458
学級数	基本数	31	32	34	35	36
	急増数	2	2	2	3	3
	合計	33	34	36	38	39

内訳

**基本数**  
平成18年5月1日現在のいぶき野小学校通学区域内に居住している児童数

**急増数**  
一定規模以上の住宅の建設計画により増加すると推計される児童数

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
児童数	基本数	237	186	199	181	182	164	1149
	急増数	13	11	11	10	8	7	60
	合計	250	197	210	191	190	171	1209
学級数	基本数	6	5	5	5	5	5	31
	急増数	1	0	1	0	0	0	2
	合計	7	5	6	5	5	5	33

平成20年度には、平成18年度推計の基本数(平成18年5月1日現在のいぶき野小学校通学区域内に居住している児童数)のみで

平成20年度には、平成18年度推計の基本数(平成18年5月1日現在のいぶき野小学校通学区内に居住している児童数)のみで31クラスとなってしまふ。1クラス40人が定員なので、新1年生が237人のため、あと4人増えると32クラスとなってしまふ。

基本数に急増数(一定規模以上の住宅の建設計画により増加すると推計される児童数)を加えると、33クラスとなり、あと数人増えれば1クラス増えてしまふ学年(小2)もあることから、34クラスの可能性がある。また、オリックス用地は平成21年3月入居の予定。

【問題点1】

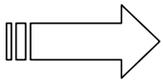
いぶき野小学校は、現在、教室数が34教室(普通学級30教室、個別支援学級2教室、はまっ子1教室、パソコンルーム1教室で使用)のため、多目的教室3つのうち、2つ(多目的教室1=2CR)を普通教室に転用する必要が出てくる。(残り1つの多目的教室は、はまっ子ふれあいスクールで使用しているため、机、イスは入れられない。)すると、多目的教室がなくなる。現在、30クラスの段階で、少人数指導教室の稼働状況は、空きコマが計6コマしかないの、少人数指導について制限を受ける。

【問題点2】

平成19年度30クラスでは、校庭と体育館が1コマずつしか空いていないという使用状況なので、体育の授業が著しく制限を受ける。

【問題点3】

1200人を超すと、給食室設備の現状から、全員に給食の提供ができなくなる恐れがある。



霧が丘小学校への変更分を除き、平成20年4月の学区変更は行わざるをえないとの共通認識を持つことで一致しました。

プリマシティ全棟をいぶき野小学校とすることは可能か

案5 (兄弟考慮)

【設定区域】

①、②、③、④を長津田小へ変更

兄弟姉妹関係による指定地区外就学を許可。

【区域設定の理由】

案5に兄弟姉妹関係を追加考慮。

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
いぶき野小 (34教室)	児童数	1,171	1,211	1,241	1,249	1,211
	学級数	32	32	33	34	33
長津田小 (26教室)	児童数	494	522	566	629	695
	学級数	15	15	16	18	19



■いぶき野小学校 (保有教室 34教室)

就学率:1.000 転出入率:1.000

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成20年度	児童数	211	198	210	191	190	171	1171
	学級数	6	5	6	5	5	5	32
平成21年度	児童数	200	214	200	212	193	192	1211
	学級数	5	6	5	6	5	5	32
平成22年度	児童数	222	200	214	200	212	193	1241
	学級数	6	5	6	5	6	5	33
平成23年度	児童数	201	222	200	214	200	212	1249
	学級数	6	6	5	6	5	6	34
平成24年度	児童数	174	201	222	200	214	200	1211
	学級数	5	6	6	5	6	5	33

■長津田小学校 (保有教室 26教室)

就学率:0.876 転出入率:0.961

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成20年度	児童数	110	75	83	75	65	86	494
	学級数	3	2	3	2	2	3	15
平成21年度	児童数	126	108	73	80	72	63	522
	学級数	4	3	2	2	2	2	15
平成22年度	児童数	119	123	106	71	77	70	566
	学級数	3	4	3	2	2	2	16
平成23年度	児童数	144	117	121	104	69	74	629
	学級数	4	3	4	3	2	2	18
平成24年度	児童数	150	142	115	119	102	67	695
	学級数	4	4	3	3	3	2	19

【問題点】

平成23年度には34クラスとなってしまふ。さらに、学級境の200人の学年が、2学年あるため、36クラスの可能性もある。(平成21年度には、32クラスが34クラスの可能性あり。)

#### 【委員からの意見】

- ・ この問題は焦点がぼやけてる。「霧が丘小にはこれだけの予算を投入して、こうする。」といった過程を経ないで、判断するわけにはいかない。
- いぶき野小は学級数境がある一方で、仮に霧が丘小に移るとしても全棟を受け入れられるかどうか判断がつかないという問題もある。(事務局)



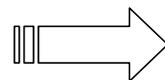
平成19年5月1日現在による平成19年度の推計結果で検討することとしました。

### 変更案③、④部分の長津田小への学区変更について

主たる受入校である長津田小に隣接しているエリアであり、学区変更を行わざるを得ない。また、学区変更について、③、④地域を対象に説明会を実施したい。(事務局提案)

#### 【委員からの意見】

- ・ プリマシティの件は棚上げにするということか。
- そうではなく、霧が丘小の受入にはソフト面、ハード面で問題があるため、先にやっておきたいということです。(事務局)
- ・ ③、④が議論に出て、なぜ①、②が出ないのかということになる。そのあたりを整理した方がいいのではないか。
- ・ ①、②や⑤との関係の中で説明会をやらないと、時間稼ぎをした者が得だったということになる。
- ・ 全体が見えないまま、③、④はとりあえず行ってくれといっても住民が納得できるのか疑問がある。
- ・ ③、④の方には、移動しなければいぶき野小学校はこうなると説明するのか。
- ⑤が決まらなければ、③、④も決まらなくなると、平成20年4月の学区変更はできなくなり、ずらせばずらすほど、いぶき野小学校の減少は鈍っていきます。(事務局)
- ・ 教育委員会で③、④をはっきり区切ってほしい。そうすれば保護者もそれなりの対応ができる。
- ・ 34学級が限度である。(いぶき野小校長)
- ・ 学校がどうのと言っているのではなく、通学路の心配をしている。
- ・ 将来的にもバス通りを通学してくると思うが、そこを拡幅するのは難しい。そこで、他の通学路の整備を学校としても要望する。(長津田小校長)
- ・ ③、④の地域でささやかれているようだが、地域の方に長津田小になるとの説明をしているのか。
- ニュースを読んで、どの案でも③、④は長津田小への変更区域なので、そのように理解して頂いているのかと思います。ただし、これから建設予定のオリックス用地については、長津田小であると業者に伝えてあります。(事務局)
- ・ 説明会をやると、③、④が議論に出て、①、②がなぜ出ないのかという話になる。その辺りの整理をした方がいいのではないか。
- ①、②の地域はいぶき野小を開校した時に土地を提供した関係もあり、いぶき野小に通学するのだという意識がある。
- 歴史的背景もあるので、難しい問題だ。



③、④の変更については、引き続き検討していきますが、それに先だって、いぶき野小学校の児童数の状況や学区変更の必要性と変更案を理解していただくため、児童数の③、④の地域の方を対象とした説明会を実施します。

### 案5-3、5-4(追加変更案)の取扱いについて

サングレイス長津田SUN自治会よりいぶき野小継続の嘆願書が出ている。(事務局)

#### 【委員からの意見】

- ・ 「サングレイス長津田SUN」や「山の手館」については、切り離した方がいいと思う。
- ・ 対象範囲については原案通りでいいと思う。



案5-3、案5-4については廃案とします。

## 3 調整委員会に寄せられた主なご意見・ご要望について

★ 入居前に売主から子供達が通う小学校はいぶき野小学校です、と言われいぶき野小が過大が問題になっている事も知らされていません。何の下調べもせずに来た方が悪いと言われたらそれまでですが、霧が丘小3校統合の際にもみなみ台地区の児童増加は話題に取り上げられていると聞きました。それなのに購入時、入居時にもそのような連絡は売主からも教育委員会からも来ていません。そして入居後1年も経たないうちに子供の数の見込みが予想よりも多かったという理由だけでプリマシティ内の棟分割案や別の小学校への変更案などあまりにも不透明で納得したくても出来ません。

★ 平成14年1月 普通教室4教室増設、仮設特別教室2教室増設、  
6月 3階建鉄筋コンクリート校舎建設着工《普通教室(10)図書室(1)多目的ホール(3)》  
平成15年3月 3階建鉄筋コンクリート校舎完成《普通教室(10)図書室(1)多目的ホール(3)》  
同時期に過大校にして、今さら大規模校はやめろとは、数合わせばかりを気にして子供の事を全く考えていないと感じます。通学区域の変更だけが、いぶき野小のためには思えません。

→ 増築の経緯ですが、平成14年1月の増設につきましては、ピロティや特別教室を普通教室にするなど、内部転用による教室の増設を行っているもので、既存校舎のほかに増築したということではありません。また、平成14年から平成15年にかけて行った増築工事の普通教室10教室の内訳は、普通学級8教室、はまっ子ふれあいスクール1教室、パソコンルーム1教室です。なお、この他にピロティで2教室分がございました。また、既存校舎は個別支援学級を含めた20教室でした。このため、増築後の普通教室の数は、ピロティ部分の2教室増設分も含め、30教室となります。よって、過大規模校(31学級以上)を想定した増築ではございません。

☆ 人口推移を拝見してもここ5、6年がピークでその後は減少傾向にあります。その間だけでも暫定的に受け入れる措置をとっても良いと考えます。いぶき野小は、作りも新しく中央のスロープがあり安全対策も出来ており、大規模校の割に学校へ足を運んでも多くて大変と感じた事はありません。グラウンドは広いとはいえませんが、大きな野球場などを借りて運動会など行わない限り、仮に24教室くらい減ったとしてもレジャーシートを敷いての観覧なんて無理だと思います。

→ 児童数のピーク時期についてですが、例えば、①、②、③、④のエリアを長津田小学校へ変更し、兄弟がいぶき野小学校へ通学している児童は、そのままいぶき野小学校に残ったとする案5(兄弟考慮)を見ても、36学級となる可能性があります。

また、1200人を超すと、給食の提供が難しくなったり、校庭、体育館や特別教室の割り当てが難しくなるなど、授業を行う上で、支障が出てまいります。このように普通学級で使用する教室数だけで判断することはできません。

☆ 旧中学校予定地のレンタル使用を教育委員会の方から申し入れたが断れたと聞きましたが、もし、本当にみなみ台六丁目の旧中学校予定地を暫定的に利用してプレハブやグラウンド用地にする事が可能であれば、地域住民皆で署名活動等を行ってはどうでしょうか。小学校の新設はとても費用がかかりますが、あざみ野小学校のようなプレハブを建てる位の予算は緑区にはないのでしょか。そういった建設的な話も是非調整委員会で取り上げて欲しいと願っています。委員会の席には、建設関係の方や土木関係の方もいらっしやると聞いています。その方々に是非意見も伺っていただきたいものです。

→ 旧中学校予定地については、開発業者に既に売却されており、プレハブ校舎の建設は不可能です。

☆ 傍聴が出来ないのにニュースでは全ての内容は判りかねます。もっと詳しく内容を知らせていただきたいと存じます。

☆ 調整委員会に寄せられたご意見の中で、プリマシティの人たちが近隣のマンションも道連れにしたいだけの勝手な提案と思われ、というものがありましたが、そんな事は全く誰も考えていません。ご近所の方とは今もこれからも仲良くしたいですし、単に2号の区分けで⑤だけ丁目で分けていない事に疑問を抱いた方がいらっしやっただけに過ぎません。

☆ 案5-4の訂正を拝見しました。

この児童数がほぼ正確ならば、兄弟枠を考慮した場合のいぶき野小学校の児童数に⑤(四丁目)の児童を上乗せしたとしても、一番多いH20年度は33~34クラスになる可能性もありますが、それ以外は多く見積もっても32ないし33クラスにとどまり、給食の釜も足りる人数に収まり、H24年度以降はもっと減少するのではないのでしょうか。1~2年だけでも猶予があってもいいのでは？お手数だとは思いますが、是非、この計算もしていただいて先の事も一緒に考えたいです。新しい案は、今のところないとおっしゃっていましたが①②③④を長津田小へそれ以外はいぶき野小、という案5(\*)の別案として提案はしていただけませんか？案を出すだけでもお願いしたいです。変更対象になった区域が全て痛み分けをしないといけないのでしょうか？前から住んでいた方々は5~6年前から学区の話は聞いていたとおっしゃっています。入居間もない住民にとってはもうすでに痛みを感じている状況です。

→ 案5の兄弟考慮の案を今回(第6回委員会)で、お示しました。また、推計につきましては、現在(平成18年度)の0歳児が小学校1年生(6歳)になるまでの推計が限度ですので、平成25年度以降の推計は出来ません。したがって、減少傾向とは断定できません。

☆ プリマ内で行ったアンケートも是非参考にして頂きたいと存じます。

- ① 長津田小へ希望する家庭は0%でした。(これは長津田小自体に問題があるのではなく、通学面で不安があるため、例えば途中人通りの少ない場所を通るとかマンション内でもA棟からE棟は約200mあり、2km以上の道のりになるなど)
- ② 棟の分割はしたくないということ。
- ③ 各年代別に集計したところ100%の集計ではないが、1クラスないし2クラス(60人程度)の増加で収まるということ。

☆ サングレイス長津田SUN管理組合の事務代行を行っている管理会社ですが、定期総会において、組合員の皆様よりいぶき野小学校学区について協議がされ、サングレイス長津田SUN管理組合として改めて、児童の心理的な面、通学安全面等をふまえて、いぶき野小学校学区調整委員会事務局へいぶき野小学校への通学について再検討頂き、従来通りいぶき野小学校への通学を継続について希望する旨が決定され、メールを送付させて頂きました。この件につきましては、近日中に管理組合として会議を開催し、改めてご要望をさせていただきます。

→ 平成19年4月23日付け嘆願書を受理しました。(事務局)

☆ 通学区域調整委員会ニュースを拝見いたしまして、あまりにも進捗が遅く、見るに見かねた為、メール致しました。

今回、長津田地区において人口増における学区の調整が入っておりますが、当初、マンションを購入する際、横浜市に学区を確認したところ、いぶき野小学校であることを告げられており、それを元にマンション購入に至っております。

プリマシティと呼ばれるマンションにおいては、当初から違う学区であることにより、マンション購入の検討から外させていただいております。

マンション購入の決め手である「子供の通学」において、横浜市が途中から変更(プリマシティの要望による長津田みなみ台4丁目全区域の変更)することは誠に遺憾であり、横浜市の整理事業として行っているにもかかわらず変更に至るということは、横浜市の認識不足にほかなりません。マンションという高額商品を購入している以上、簡単に変更されては甚だ納得いきません。それ相応の対応をとるべきかと思えます。責任を取られる覚悟があるのであれば、それ相応の方からの返信をお願い致します。簡単に言ってしまうと、当初の予定どおりにすることが一番の筋であるかと思えますが、ご対応願います。

※ 調整委員会に寄せられた意見・要望については、十分配慮しながら、検討していきます。

## 委員会での主なご意見・ご質問等

- ★ 例えば、変更地区の子ども達が全員「指定地区外就学」させてほしいといってきたら、どうするのか。  
→ 許可条件に該当したうえで、受入校の施設の条件により判断されます。(事務局)

今回、下記のとおり、委員の変更がありました。(敬称略)  
上の原グリーンハイツ自治会 会長 大石 義孝 (変更)

### 【次回検討委員会日程】

平成19年5月31日(木) 午前10時から いぶき野小学校で開催予定

横浜市教育委員会の基本方針、いぶき野小学校通学区調整委員会の検討内容等は  
ホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・いぶき野小学校通学区調整委員会 <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakkucho.html>



いぶき野小学校通学区調整委員会は、皆さまからのご意見をいただいております。  
FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

\*いぶき野小学校通学区調整委員会事務局\*  
横浜市教育委員会事務局 学校計画課

FAX:045-651-1417  
Eメール: [ky-ibukino@city.yokohama.jp](mailto:ky-ibukino@city.yokohama.jp)  
TEL:045-671-3253

